

質 問 回 答

平成26年3月24日

「トーゴ国ロメ漁港整備計画準備調査」

(公示日：平成26年2月26日) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

番号	当該頁項目	質問	回答
1	配布資料 <対策工の検討範囲>	<p>確認調査報告書(2-26~2-28頁)に、漂砂量の試算と現地の海岸保全計画についての記述がありますが、候補サイトNo.3における汀線変化については、2006年と2013年のグーグル・アースの画像を比較して大きく変化しておらず、その原因は、ビーチロック(※報告書では、ビーチストーンと呼んでいるが、正しくはビーチロックと思われる)が「離岸堤の役目を果たしており、現在の海岸線での侵食は以前に比してかなり穏やかになっている」と述べており、今後の海岸侵食の再発懸念は大きく緩和されたとの所見が示されています。</p> <p>しかしながら、私共が同様に一般公開されている経年の衛星画像を検討する限り、確認調査報告書のとおりサイトNo.3(東側の商港副防波堤の取付部から2.5km付近)においては大きな変化は観られませんが、漂砂の下手となる、さらに東側、同4km~6kmの区間においては、2006~2011年に最大40m程度、2011年~2013年の間には最大20m程度の汀線後退が窺え、決してビーチロックにより波のエネルギーの減少効果で平衡安定した漂砂海岸という状況ではないようです。</p> <p>一般的に漂砂海岸における港湾構造物による海岸侵食の影響範囲は、構造物の近傍のみならず、沿岸数キロ、数十キロ以上にも及ぶことは周知のことですし、ロメ自治港建設後に発生した海岸侵食を観ても分かるとおりです。</p> <p>「トーゴ政府、UEMOAと調整すること」と確認調査で提言されている海岸侵食対策の範囲は、最大、港湾構造物の建設サイトから数キロに及ぶ可能性もあ</p>	<p>「今回の調査対象は、No.3サイトに新漁港を建設した場合に必要なとされる海岸侵食対策工の検討範囲はサイト近傍のみとし、広域の侵食対策は、トーゴ政府が実施中あるいは計画している広域海岸侵食対策プロジェクトへの技術提案のみとして」とのご認識で間違いありません。</p> <p>ただ、上記の点に関する懸念事項及び対応策については、応募者のノウハウに関するものとしてご提案をプロポーザルに記載頂ければ適宜評価の対象とします。</p>

		<p>るとと思いますが、今回の調査対象は、No.3 サイトに新漁港を建設した場合に必要とされる海岸侵食対策工の検討範囲はサイト近傍のみとし、広域の侵食対策は、トーゴ政府が実施中あるいは計画している広域海岸侵食対策プロジェクトへの技術提案のみとして考えて宜しいでしょうか。</p> <p><その他； 参考情報></p> <p>現在、拡張工事を実施しているロメ自治港の環境影響評価報告書（2010年9月28日付、コンサルタント Inros Lankner 社）など一般公開されている情報。 http://ifcext.ifc.org/ifcext/spiwebsite1.nsf/0/E55BA4D9868BB23F8525783F007B8C0B/\$File/2%20ESIA%20May%202010.pdf</p>	
2	<p>配布資料 <環境社会配慮、海岸侵食対策の検討></p>	<p>確認調査報告書（3-6～3-10頁）に、計画サイトの現状、事業コンポーネント（案）に見込まれる影響、スコーピング結果が示されています。住民移転などについては、今後の調整について、対象住民数がサイト敷地の選定次第で200人を下回る可能性があることから、住民移転は、比較的容易ではないかとの展望を示唆していますが、一方、当該サイトで最も深刻な問題となっている海岸侵食については、現地政府とUEMOA等が先行して計画している海岸防護策と調整して決定すること以外に、具体的な調整方針、検討範囲、展望が示されません。海岸侵食は、沿岸部の広域に影響する問題ですから、計画の新漁港の設計方針と、同時進行している他の海岸侵食対策との調整は、大変重要かつ責任、負荷の大きな作業と想像します。今回の指示書に示された準備調査の期間内で容易に調整可能、あるいはトーゴ政府が広域の海岸侵食対策については全責任と持つという前提で、調査計画を立案して宜しいでしょうか。現地での調整が難航した場合は、契約期間の延長、作業投入量の追加など、途中で契約変更は可能と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>ご理解いただいています前提で調査計画を立案いただいて結構です。また契約期間の延長、作業投入量の追加などは、その必要が発生した段階で個別のケースごとに検討・協議させていただきます。</p> <p>さらに上記の回答1と同様に、応募者のノウハウに関するものとしてご提案をプロポーザルに記載頂ければ適宜評価の対象とします。</p>

以上

質問に係る参考図

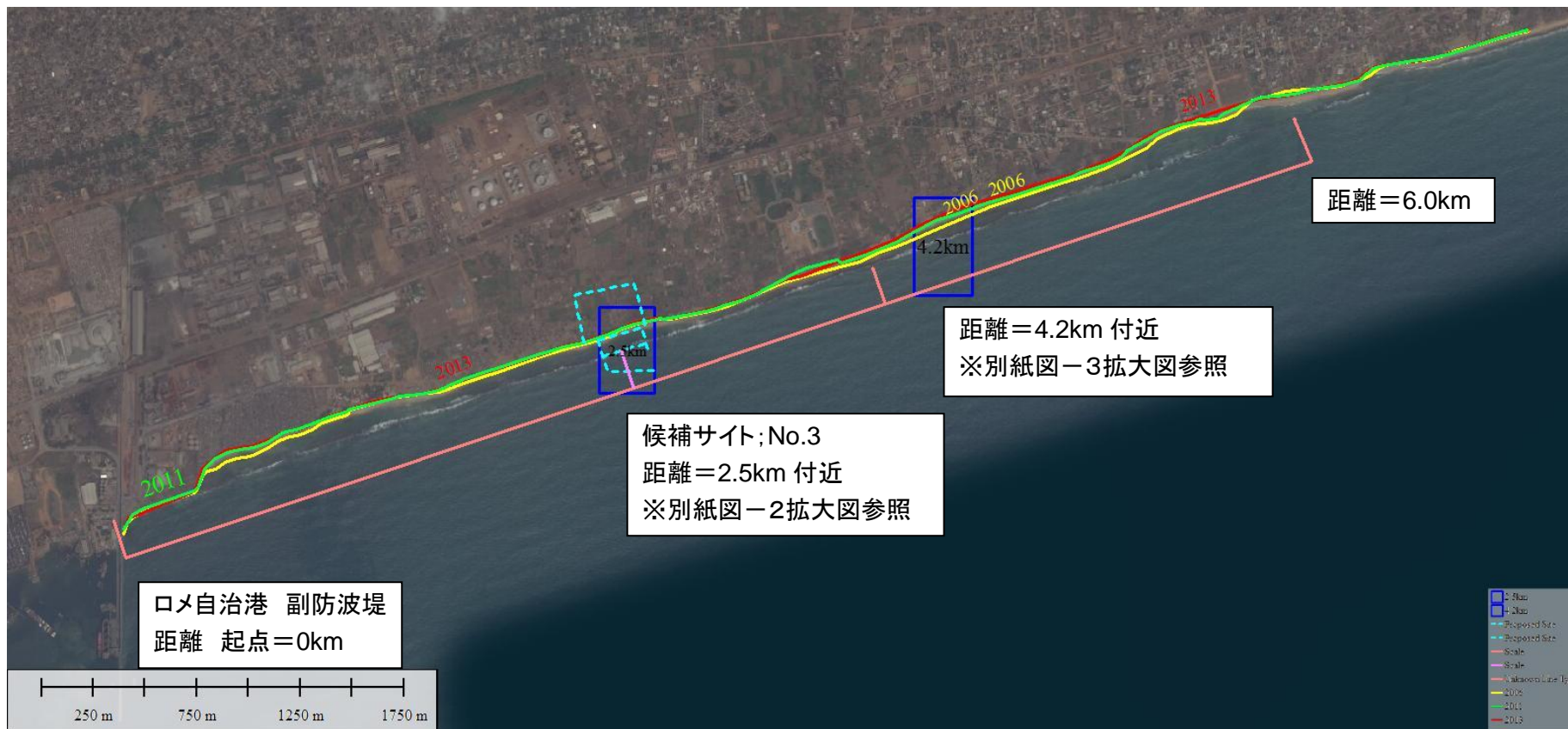


図-1: ロメ自治港から東側の海岸汀線の経年変化
(黄色;2006年、緑色;2011年、赤色;2013年)

※ベース写真は、2011年の衛星写真（一般公開）

※汀線の判定は、砂浜の緩傾斜部の汀線判定は、衛星写真の撮影時刻と潮位の関係や波の遡上タイミングなどによって判定精度環悪いので、前浜の植生線で判定した（≒波の遡上限界線と見なす）

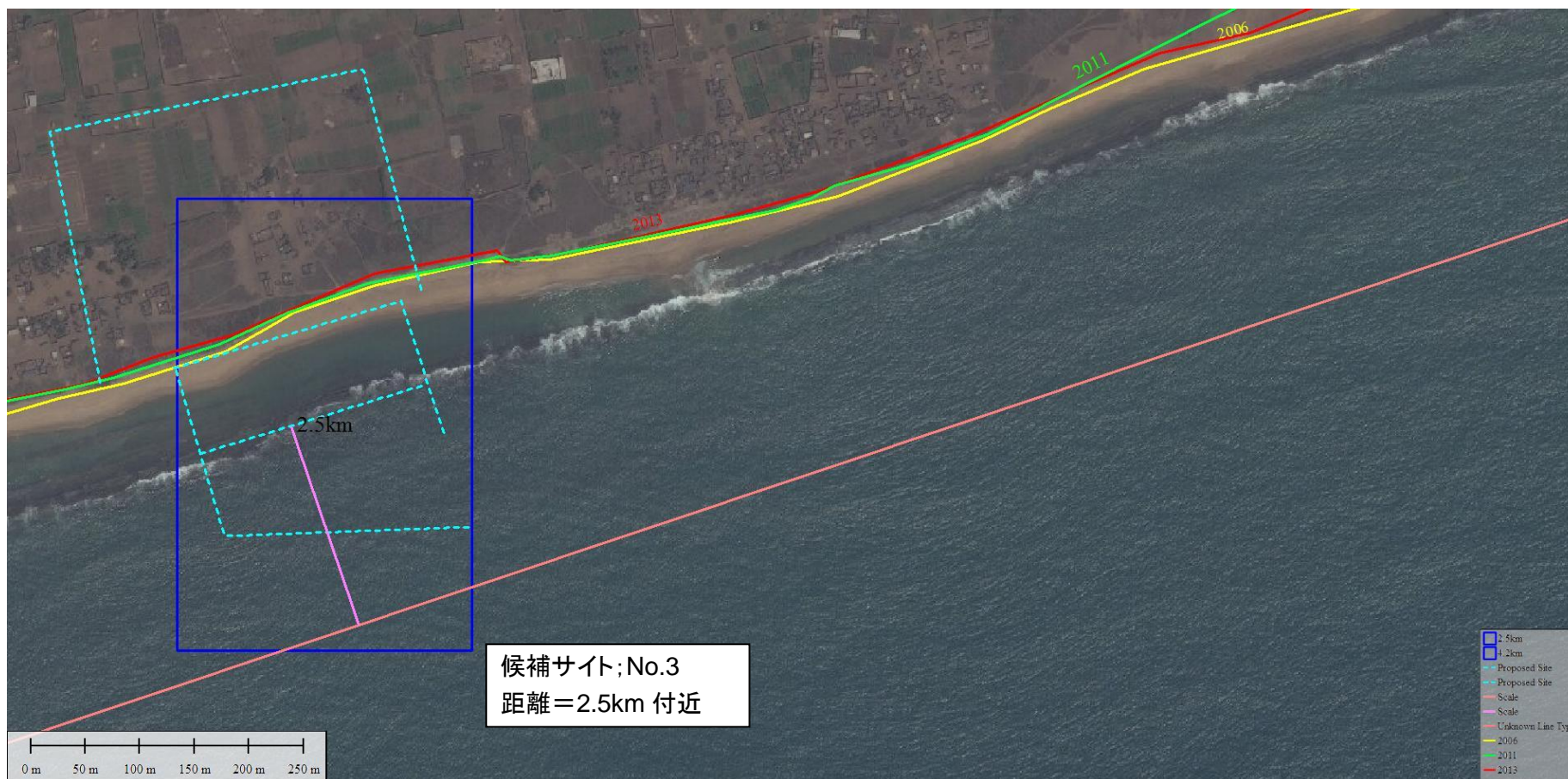
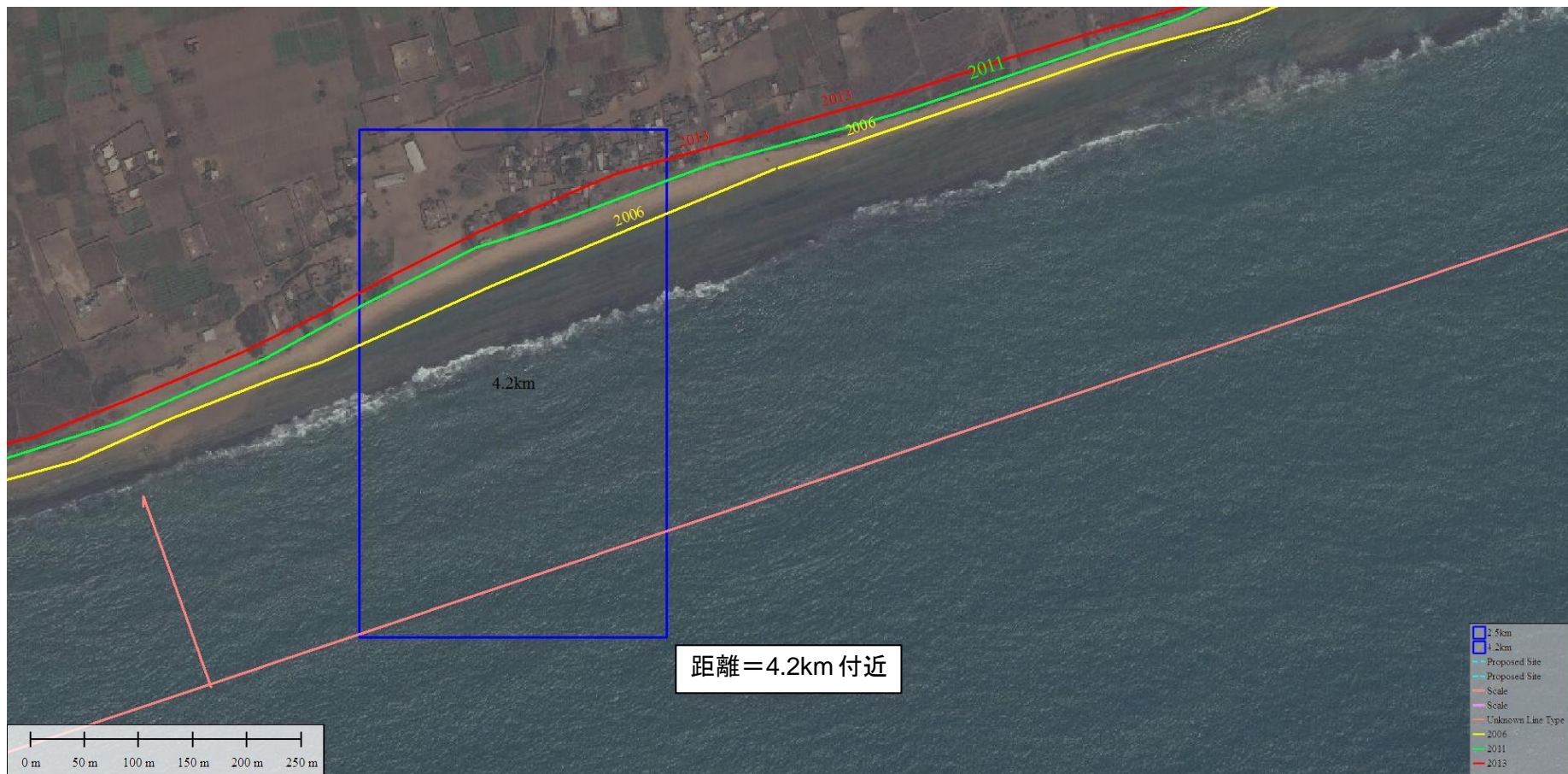


図-2: ロメ自治港から東側へ 2.5km 付近の海岸汀線の経年変化
(黄色;2006年、緑色;2011年、赤色;2013年)

※特に顕著な変化は見られない。



図一3： ロメ自治港から東側へ 4.2km 付近の海岸汀線の経年変化
 (黄色;2006年、緑色;2011年、赤色;2013年)

※2006～2011年； 最大 40m 程度の汀線後退が観られる。

※2011～2013年； 最大 18m 程度の汀線後退が観られる。